

教員の業績

職名	准教授	学位	修士(経済学)
氏名	カナ	マツダ タカシ	学生支援委員長
	漢字	松田 岳	

1. プロフィール	立教大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程(単位取得退学) (財)国際通信経済研究所、金融庁総務企画局政策課研究開発室金融研究研修センターを経て、2005年より現職		
2. 主な担当科目	金融論、経済学概論		
3. 専門分野	地域金融論、アメリカ経済論		
4. 主な研究テーマ	米国のコミュニティ開発金融の円滑化		
5. 主な研究業績	著書	『終わりになき世界金融危機：バブルレス・エコノミーの時代』、共著、2012年9月、岩波書店	
		『バブル・リレー：21世紀型世界恐慌をもたらしたもの』、共著、2009年2月、岩波書店	
	論文	「低所得コミュニティの生成と固定化に関する一考察」(研究ノート)共著、2016年3月、『富士論叢』第60巻第1号	
		「金融危機後の国際マネーフロー：欧米の銀行活動を中心に」共著、2013年11月、『富士論叢』第58巻第1号	
		「金融危機後の米国の州・地方財政」単著、2012年3月、『FUJI BUSINESS REVIEW』(東京富士大学総合研究所)第4号	
		「米国の商業用不動産貸出問題とその展望」「米国のコミュニティ開発金融とその支援策」、単著、2012年3月、『FUJI BUSINESS REVIEW』(東京富士大学総合研究所)第4号	
		「世界金融危機後の米国金融システムの行方：不良債権問題を中心に」、単著、2011年、『信用理論研究』(信用理論研究会)第29号	
		「米国のコミュニティ金融におけるCDFIの役割—金融アンバンドリングの観点から—」、単著、2011年6月、『経済経営研究』(東義大専攻[韓国]経済経営戦略研究所)第6巻第1号	
		「金融危機後米国の金融規制改革の有効性に関する一考察」、単著、2010年3月、『FUJI BUSINESS REVIEW』(東京富士大学総合研究所)第2号	
		「金融取引への監督・規制強化は実現するか 『未曾有の危機』のトラウマが癒える前に」、単著、2009年10月、『世界』岩波書店、第796号、2009年10月号	
		「米国の金融資産バブルと国際マネーフロー」「米国住宅価格急騰の金融メカニズム」(査読論文)、単著、2009年3月、『FUJI BUSINESS REVIEW』(東京富士大学総合研究所)第1号	
		「地域内資金循環の円滑化—地域通貨と地域金融機関」、単著、2007年10月、『季刊個人金融』(財団法人ゆうちょ財団)Vol.2、No.3、2007年秋号	
		「コミュニティ開発法人と地域活性化」、単著、2006年2月、『信用組合』(社団法人全国信用組合中央協会)第53巻第2号、2006年2月号	
		「イタリアの地域・中小企業金融支援策の一側面—Artigiancassaへの現地調査を通じて—」、単著、2005年11月、『FUJI ACCOUNTING REVIEW』(東京富士大学税務会計研究所)10号	
		「米独の金融自由化とセーフティ・ネットの展開」(査読論文)、共著、2004年12月、『FSAリサーチレビュー』(金融庁金融研究研修センター)Vol.1	
「米独の預金保険制度の比較分析～破綻処理と規律付けを中心に～」、共著、2004年3月、『成城大学経済研究所研究報告』、No.39			
6. 所属学会	日本金融学会、信用理論研究会 経済理論学会		